

目標や活動状況を広く公開し、対話をもとに、改善につなげます。

❑ 取り組みの背景・理由と、私たちの考え

社会との共存のために、情報開示とコミュニケーションの重要性が高まっています。コニカミナルタはあらゆる人々をパートナーとして受け入れ、正直でオープンな情報を共有し、理解し合うことで信頼関係を築き、いつでも話し合える土壌をつくっておくことが重要だと考えています。そのために、わかりやすく具体的な内容での情報公開を進めています。

❑ 私たちの取り組みの成果と、これからの目標

コミュニケーションが進むことで、コニカミナルタグループ全体で人々とのつながりが一層広がりました。情報公開による環境活動のチェックが行われ、地域との対話を通じて水使用量削減という新たな課題が生まれました。今後は、対話活動とホームページを使った双方向のコミュニケーションを充実させていきます。

コニカミナルタのルール グループで、事業会社で、生産サイトで、情報開示を推進します

1 皆様から見える企業であるために、誠実で、わかりやすい情報公開に努めます。

企業としてのアカウンタビリティ（説明責任）を果たすためにも、製品の環境配慮、生産工場の環境負荷・対策などの情報開示は重要であると考えています。そして、外からの声に耳を傾けることは、次の活動のスタートであると捉えています。情報開示は、わかりやすい言葉で、数値データなどの具体的な内容を公開すること。理解と信頼を深めるために、地域報告会、報告書やホームページでの開示度を決して下げないことなど、継続をモットーとして取り組んでいます。また、化学製品を提供する企業として、化学物質のわかりやすい情報開示を研究し、実践していきたいと考えています。

ホームページでの情報開示



2003年8月の経営統合とともに環境ページを掲載し、2004年3月にリニューアルしました。
<http://konicaminolta.jp/about/environment/>

事業所保全実績PDFファイル
事業所・関係会社の、大気・水質・騒音・振動の測定実績を掲載しています。

レポートでの情報開示



2003年度は、新たに神戸サイトと甲府サイトで、サイトレポートの発行を開始しました。

レポートはすべてホームページでご覧いただけます。
<http://konicaminolta.jp/about/environment/activity/>

「展示会などでの情報公開」の取り組み 統合直後に「エコプロダクツ2003」へ参加しました。

2003年12月、東京ビックサイトで開催された、国内最大の環境展示会「エコプロダクツ2003」に参加し、新生コニカミナルタの考え方「グローバル・グループワイド・ライフサイクル」を広くお伝えしました。複写機、デジタルカメラ、撮りっきりMiNiなど、製品での環境配慮のほかに、工場での事例として、小田原サイトの取り組みを紹介しました。

展示会は、いろいろな方と直接対話ができることが魅力です。私



たちの活動をご覧いただきながらの双方向コミュニケーションの場として、地域の環境フェアや行事などに積極的に参加しています。

「エコプロダクツ2003」
コニカミナルタブース

「リスクコミュニケーション」への取り組み

「地域環境報告会」で、
地域との対話を広げています。

PRTR制度を背景としたリスクコミュニケーションの一環として、2002年9月に東京サイトで開催した「地域環境報告会」。2003年度は新たに小田原サイトでも同報告会を開催しました。この両サイトは、住宅地に囲まれた化学工場であるため、地域との共存には住民の方との対話が不可欠であり、また義務であると考えます。身近なコニカミノルタであるために、今後も透明性を高め、地域に信頼されるよう、「地域環境報告会」を継続していきます。

サイトにおける2003年度「地域環境報告会」の様子

小田原サイト

2003年11月5日 第1回目開催。参加者46名。初の開催でしたが、自由に話し合える雰囲気の中、水の使用や大型トラックの出入りに関してなど、具体的に中身の濃い対話ができました。

いただいたご意見に対しては個別にフィードバックを行いながら、定期的な検討会を設け、対策をとっています。



参加者と意見交換をする
藤川 小田原サイトリーダー

東京サイト

2003年9月23日 第2回目開催。参加者46名。

1回目のご意見を受けて、水使用削減の優先順位を上げ、2003年度目標に組み込んで使用削減を加速しました。2回目ではこれらの対応の報告を行いました。また、より多くの環境や水に関する市民団体に、報告会への参加を呼びかけて欲しい、とのご要望をいただきました。



環境配慮型製品の展示会も
同時開催しました



参加者の質問にお答えする澤田 東京サポートセンター長

その他の取り組み

【TYPE 環境ラベルの取得状況】

環境負荷が少ない製品を選ぶための指標となるType I 環境ラベルの取得も積極的に行っています。ドイツの「ブルーエンジェルマーク」は、2004年1月からオフィス用機器において基準が強化されましたが、この新設の複合機分野で「DiALTA Di3510」と「DiALTA Di3510f」が世界初の認証を取得しました。環境ラベル取得状況はホームページで公開しています。

<http://konicaminolta.jp/products/business/lineup.html>



エコマーク(日本)



ブルーエンジェルマーク(ドイツ)



国際エネルギー
スタープログラム

「製品の情報公開」の取り組み

製品の環境情報をエコリーフなどで
積極的に開示しています。

コニカミノルタでは、製品の情報をストレートに正しく伝える手段として、Type 環境ラベルエコリーフによる情報公開が非常に有効であると考えています。現在、エコリーフ認定の取得は33製品におよびました。

また「システム認証」を、2002年9月の複写機事業に加え、2004年2月にはプリンタ事業でも取得。原材料生産から組立、販売、使用、廃棄・リサイクルまでの製品の環境負荷を定量的に把握するしくみが「社」産業環境管理協会より認められました。

エコリーフを用いた製品情報はホームページでも公開しています。

<http://konicaminolta.jp/about/environment/product/label/type3.html>



デジタル複写機bizhub7235の
エコリーフでの情報



撮りっきりMINIパッケージに
エコリーフロゴを表示



グリーン購入ネットワーク登録製品情報の開示

<http://konicaminolta.jp/about/environment/product/gpn/index.html>

そのほかにも、グリーン購入ネットワークに複写機/複合機、プリンタ/ファクシミリ、コピー用紙、インクジェットペーパーの分野で登録し、製品情報を公開しています。

【工場見学における環境情報の公開】

地域の方をはじめ、学校、行政、企業など国内外からの工場見学を受け入れています。2003年10月には、工場見学を交えて、日本レスポンスリペア協議会主催の学生団体との対話「環境交流会」が行われました。



「できるだけわかりやすく」を心がけています

東京サイトの環境報告会では、「水」への対応一つに対しても、地下水の利用から排水処理、河川への影響など広範囲の質問をいただきます。報告会では、環境データ公開など、一方通行なものにならないよう、できる限りわかりやすく説明、報告することに心がけています。(コニカミノルタビジネスエクスパート(株)八王子 環境整備グループ 稲葉麻由実)